

旧村川別荘だより



平成 21 年 4 月 22 日発行
 旧村川別荘市民ガイド事務局
 我孫子市教育委員会 文化・スポーツ課
 歴史文化財担当：岡村、辻、工藤
 〒270-1166
 我孫子市我孫子 1684 番地
 TEL:04-7185-1583 (直通)
 E-mail:abk_bunka@city.abiko.chiba.jp

4月の月例会が開催されました

4月と5月のシフトの確認を行い、いくつかの変更がありました。シフト表をご確認ください。



旧村川別荘のこれまでとこれから

① 旧村川別荘のはじまり

大正 6 年、この我孫子の地に、西洋史学者村川堅固が土地を求めたこと、これが旧村川別荘の端緒です。その後、土地を増やし、大正 10 年に母屋を、昭和 2 年に新館を建設、別荘としての歴史が始まりました。

② 旧村川別荘の危機

平成 3 年（資料は誤りです。訂正しお詫びします）、旧村川別荘の 2 代目主人として堅固から別荘を受け継いだやはり西洋史学者の村川堅太郎が、その生涯を閉じました。ご遺族は、この別荘を何とか残したいと願っていましたが、国へ税金として納めなければならなくなりました。このとき、ご遺族の願いと、保存継承のために立ち上がった市民の声にこたえ、市も保存できないかと国へ働きかけます。そして、国へ物納後、市が将来買取するという約束の下、通常更地にしなければ受け入れられないとされている物納において例外的に建物、立竹木などを現況のままとし、市が買い取るまで国からの維持管理委託を受けていくこととなりました。

③ 旧村川別荘の生まれ変わり

平成 13 年、我孫子市は、晴れて国から旧村川別荘を買い取るまでにこぎつけます。社会教育事業施設として活用していくことを国有財産売買の条件として、金額 2 億 1,900 万円で契約を締結しました。



これ以降、旧村川別荘は、我孫子の別荘文化を体現する建物、庭として一般公開され、見学者や史跡巡りのグループが訪れることとなります。

④ 旧村川別荘のいま

平成 18 年 10 月から、市民によるボランティアガイドが始まりました。これを契機に来荘者も爆発的に増加。これまで 600～900 人で推移していた年間来訪者数が、平成 18 年度には 3000 人を突破します。平成 19 年には我孫子市指定文化財第 9 号となり、その文化財的価値の高さが明らかにされました。

⑤ 旧村川別荘のこれから

平成 19 年 7 月、我孫子市では「手賀沼文化拠点整備計画」を策定しました。この計画により、手賀沼沿いに点在する多くの史跡などを保存、整備、活用し、相互に連携させることにより効果的に魅力を向上させるということが位置づけられました。これに基づいて、今年度から旧村川別荘も再整備、再活用に向けて始動し“指定文化財旧村川別荘”として邁進していきます！

●Q&A など

- ・4月からの部屋貸しは原則取り止めとなります。これまで定期利用をされていた 5 団体については、6 月末までは経過措置としてご利用可能としています。
- ・市民文化講座については、今年度は使用しますが、来年度からは旧村川別荘での市民文化講座はなくなる予定です。
- ・定期利用の 5 団体とはどの団体ですか？
→詩吟、お茶、俳句、作詞、韓国語です。
- ・経過でも触れられていますが、何年から公開されて何年から日数が増えてというあたりはいかがですか？
→平成 7 年度から国からの委託を受けて市が維持管理を開始しました。その当時、週 3 日（水・土・日）であけて、清掃・風入れ等の維持管理と見学の受け入れ、部屋を使いたいという希望には貸し出しをしていた



ということです。平成 18 年度から週 5 日（水～日）に増加、平成 19 年度から週 6 日というように拡大をしてくれています。

・いつから整備とか工事に入るのですか？

→今年度に設計を行い、来年度と再来年度の 2 箇年で工事を行う予定です。

前原古墳について

今回は、ガイドさんからご質問もいただいていますので、1月から2月にかけて発掘調査を行っていた、前原古墳についてご紹介します。



「前原」は、高野山の小字です。現在、市が進めている高野山まちづくりでは、高野山地区の都市基盤環境の向上を図るために、道路、公園水道、下水道、

隅切り、地区独特の建築のルール導入などを行っています。そのうちの公園整備（図1のあたり）にあたって、発掘調査を行ったものです。公園予定地の南西部を発掘したところ、図3のように方墳が二つあることが判明しました。かつては地ぶくれ状に高まりがあったとされます。確認の結果、およそ 15 m 四方の方墳が 2 基あり、古墳の周りの堀（周溝）から出土した土器（甕）の年代からみて 4 世紀後半（古墳時代前期）に作られたものと考えられます。

前原古墳から南西 200m には千葉県北西部地域最大の前方後円墳で、我孫子最古（4 世紀末）の古墳と評されてきた水神山古墳があります。前原古墳から出土した土器は、この水神山古墳の年代を遡り、**我孫子最古の古墳**となりそうです。水神山古墳の形態である「前方後円墳」は大和政権との深いつながりで採用された形態であると考えられています。水神山古墳以前の前原古墳は大和の力が及ぶ前に我孫子の在地豪族が作ったものと考えられることができそうです。

それではなぜこの場所に古い古墳が作られたのでしょうか？大きな理由として沼への眺望が指摘できます。前原古墳や水神山古墳に葬られた人々は手賀沼をその権力の源としており（沼での漁業・水上交通など）、自らの力を誇示するために沼を見渡す



図2

景観の地であるここに古墳を作ったのでしょ。前原古墳は発掘終了後に埋め戻して地下で保存します。その後、市民が憩う公園として整備し、2009 年秋にはオープンする予定です。

●Q&A など

・この場所は私も行って見たんですが、非常によい場所で、沼を見渡すポイントだったということがよくわかります。沼の権力を象徴するということが実感できますので、ぜひ皆さんもいらっしゃってください。

・今回の時代を判断した材料というのは？

→方墳という古墳の形状がまず一つ。方墳は古墳時代の初めか終わりかのどちらかにか出現していないということでまず絞られます。新しい時代の方墳に見られる横穴式石室の痕跡がないことから古い時代の方の可能性が高いという判断です。また、周溝から出土している土器の年代を調べると 4 世紀半ばということです。

・2 個並んでいるのは、親子など親族的なつながりの可能性も高いということですよ。

・埴輪は？土留めに使われるような円筒埴輪もなかったのでしょうか？

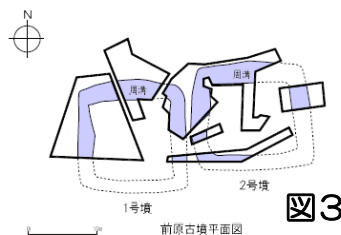


図3

→ここでは埴輪（円筒形埴輪も）は出土していません。我孫子で埴輪が出るようになるのは、5 世紀以降になります。古さの順で言うと、今回の前原古墳が 4 世紀半ば、水神山古墳が 4 世紀末、その次が 5 世紀前半の金塚古墳となりますが、ここでは埴輪も出ています。また、このころになると副葬品として武器などが出てくるようになり、金塚古墳では短甲や刀といった武器が特徴的となってくるわけです。

3月の来荘者数

平成 21 年 3 月	2363人	(推定)でした。
ちなみに平成 20 年 3 月	435人	
平成 19 年 3 月	464人	
平成 18 年 3 月	43人	

次回は・・・

平成 21 年 5 月 1 日（金）午前 9 時半から旧村川別荘新館にて月例会を行います。